

春の風が静かに吹き抜ける午前、公園のベンチに座って本を読んでいると、ふと金木犀の香りが鼻をかすめた。季節の移ろいを知らせるように、木々はゆっくりと色を変え、足元には赤や黄色の葉がまいおちる。遠くで子どもたちの笑い声が響き、世界が少しだけ穏やかに感じられた。